



モチベーションの創造

令和7年7月16日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

モチベーションは目的の共有における意欲の創造である。これらが企業の原動力であり、それを失うとき、企業は自己を失う。

強制という現実はこちらを奪うものであり、自主性における自覚は高い意識と目的の許容という企業の正しい環境とともに、企業の発展を与えるものである。

これらは絶対的な企業の健全性なのであり、それが企業の飛躍を可能とする正しい基盤なのである。

これらは企業におけるルールの制定において実現するものであり、正しい企業風土の育成はこれにおいて可能である。

これらは社員におけるより高い意識の形成であり、それらが相対的に結果を生むことができるのである。

強制は必ず自己の搾取であり、自覚と責任という正しい企業経営の育成は、それらを排除し、高い創造性における時代という現実への参加を実現できるのである。

また公正なルールは唯一社員の意欲を育成できるのである。これらが企業の健全性の構築なのである。

これら正しい企業基盤は、社会との共生と新たな社会責任における社会への参加を実現できるものである。

これらは企業がライフラインの維持という自らの責任を有することにおいて、マネーゲームと一線を画し、自己を求めることは、社会に対する責任とともにした企業の高い倫理的自己の確立を実現できるのである。

これら善の経営は健全な企業風土と利益体制の育成を可能とできるものであり、時代という現実の吸収とともに、未来を実現を可能とできるのである。